



Say hello to our readers!

# ほんさんの手紙 8月号

LETTERS from HON-SAN vol.26 Aug, 2017

## 26 我が家は「ヘリクツ」ファミリー

最近家族の「正論」というか「屁理屈」がひどいんです。

先日、長女（小6）が遊びに行く時の靴を玄関で選びながら、「この靴お気に入りだけど前に〇〇ちゃんに笑われたからなー」みたいなことを言ってたんで、「そんなん人の意見に左右されんと、自分で決めろや」って言ったら、「それも人の意見やんな」とピシャリ。正論も正論ですが（笑）

また少し前、僕が高速道路で少しスピードを出し過ぎた時にも、「パパ、スピード出し過ぎじゃない？」と長女が言ってきたので、「ある程度まわりの車のスピードに合わせないと、逆に危ないねん」と言い訳したら、「周りの車からしたらパパの車も周りの車やんな？じゃあパパがスピードを落とす、最初の1台になればいいんじゃない？」と言われ、久しぶりに「ぐう・・」と声が出てしまいました。

次女（小3）は次女で、晩ご飯を食べている時に三女（5歳）から、「ねえちゃんズルい！それウイナー3つめやろ！」と言われた際に、「わたしがウイナー3つ食べてる間にあんたは他の何かを食べてたワケやから、時間的には公平や。ズルくない」って言ったんですね。



なかなかの論点のすり替えだなと思いました。将来ビジネスの現場で折衝には強くなりそうだなと頼もしく感じました。

負けてはいない三女（5歳）。次女に、「これ、なんて言ってるか当ててー！」と、口の動きだけで何を言ってるか当てるゲームを申し込み、なにやらモゴモゴと口を動かします。次女が、「ア・・・？ンパンマン・・・？」と答えると、「ブーッ！声出してないから何も言っていましんー！」と。次女はブチ切れてました。

でもやっぱり一番ぼくを傷つけるのは妻の正論。

お風呂上りになかなかパンツをはかない三女に僕が、「こっちゃん！なんでパンツをはかないの！」と叱ったら、「変態の血を色濃く継いでるからやろ」と端的に。

参りました。

せめて四女（0歳）は、ゆっくりと論理的思考が育っていけばいいのにな。



